

「第41回^{もり}森林の市 in AKITA」に参加しました

国立研究開発法人 森林研究・整備機構
森林整備センター秋田水源林整備事務所

秋田水源林整備事務所は、令和元年6月8日(土)に東北森林管理局構内(秋田県秋田市)で開催された「第41回^{もり}森林の市 in AKITA(主催:森林の市 in AKITA 実行委員会)」に職員全員で参加しました。

このイベントは、森林からの恵みである山菜、木製品等の販売や木工クラフト製作体験などを通じて、森林の大切さや木材の利用、森林とのふれあい等について普及啓発し、楽しみながら森林・林業・木材産業及び国有林に対する理解を深めていただくことを目的に開催されているもので、今回で41回目となる県内恒例のイベントです。

当日は小雨がぱらついたときもありましたが、県下の林業関係団体が一同に会し、イベント全体で約700名の来場があり、活気あふれるイベントとなりました。

私たちは、このイベントの趣旨を踏まえ、水源林造成事業や森林の役割に関するパンフレットを展示・配布し、参加者に森づくりへの理解を深めていただくとともに、松ぼっくりや枝等を使って、ふくろうやナマハゲなどの小物づくりのコーナーを設け、年代を問わず多くの来場者と交流することが出来ました。

中には、遠くに住むお孫さんが遊びに来たときに作り方を教えてあげたいと、熱心に取り組まれる方もおられ、このイベントに出展する意義を再確認することが出来ました。

秋田水源林整備事務所は、今後もこのような活動を通じて、地域の皆さまに木に親しんでいただく機会を作っていきたいと思っております。

当事務所コーナーの様子
～松ぼっくりや枝等を使った小物づくり～

